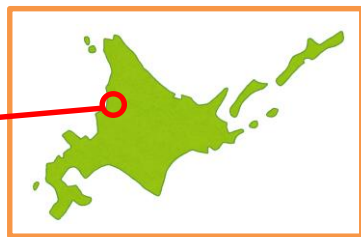


取組の概要

計画作成主体：小平町農業再生協議会
 対象品目：花き（産地面積2.0ha）
 主な取組主体：南るもい花き生産組合
 成果目標：販売額の10%以上の増加
 基準（H27年度）48,851千円
 目標（H32年度）63,712千円
 導入施設等：生産支援事業（機械リース）
 （ハウス加温機、電照設備）

北海道
 留萌市・小平町
 留萌・小平



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

トルコキキョウを主力に花き生産を行っているが、他作物栽培用ハウスでの栽培体系であり、品質向上等を図るためには栽培用ハウス環境の改善が必要である。このことから、栽培用ハウス環境の改善を図るための生産資材の導入や機械のリース導入、需要や収益性の高い品種への作付転換を図り、採花率や上位等級品率の向上等により、販売額の更なる増加を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ①夏期におけるハウス内高温防止や作業効率の向上のため、栽培ハウス用生産資材の導入や温度管理機能等の機械リース導入を支援
- ②需要や収益性の高い品種(コサージュ)への作付転換を図るため、栽培ハウス用加温機や電照等のリース導入を導入

推進体制

・小平町、留萌市
 ・JA南るもい
 ・農業改良普及センター

指導・助言

町農業再生協議会
 ①計画の策定・管理
 ②取組計画への助言

情報共有

・協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)
 ・行政機関(町)及びJA、普及機関によるサポート体制

取組主体（花き生産組合）
 ①取組計画の作成
 ②取組実施 等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 主力品種トルコキキョウの中でも、花弁数・厚さ・輪の大きさ・発色・花持ちに優れるコサージュ品種への転換を推進
- 地域特色を活かした栽培技術等を確立し、新規参入者向けの経営モデルやトルコキキョウ産地としてのブランド化を目指す。

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

- ① ハウス栽培環境の改善による、作付面積の増加や収穫量・採花率・上位等級品率向上に伴う販売単価の向上

【事業実施による間接効果】

- ① 花き栽培の経営モデル構築による、新規就農者等の担い手の確保

販売額が増加

～花きの販売額～

30.4%

63,712千円

48,851千円

H27年度

H32年度

